

このページは市民の皆さんから市役所に寄せられた「市民の声」で構成されています。

## 泥棒にはくれぐれもご用心

8月号の特集「我が家はホントに大丈夫?」に関して、市民の方からもいろいろ体験談が寄せられましたので、ここでその一部をご紹介します。

### 思わず“張り紙”

8月号特集を見て思い出したことがあります。それは、お正月で実家に帰省していた間に空き巣に入られたときのこと、あんまり腹が立ったので、翌年、ドアの前に「泥棒さんへ 去年、入られたのでうちにはもう何もありません」と張り紙をし、さらに夜、実家から留守宅に電話をかけて侵入者を脅かすという作戦に出ました。…とはいえ今思えば、これはただ不在を強調しただけですよね。(20代女性 会社員)

### 雑誌が守ったお財布

留守中、裏庭から窓を破って泥棒が侵入。ところが、現金の入ったお財布は、居間のテーブルの下にあったにもかかわらず無事でした。実は、財布の上にはちょうど雑誌があって泥棒も見落としたんですね。もちろん、今は窓もカギも代えて防犯対策しています。(50代女性 主婦)



## 野焼きはダメ!です



- Q ①自分の家から出た草木や紙くずなどを庭先で燃やしても良いのでしょうか。  
②近くの会社で、ごみを燃やしているようで、黒い煙が私の家のほうに流れてきています。どうにかならないのでしょうか。

A 昔は、地面の上やドラム缶などでごみを燃やしている人をよく見かけました。

しかし、そのようなごみの焼却(野焼き)は、ダイオキシン類など有害物質の発生や、悪臭・煙などの原因となることから、平成13年4月から禁止されました。

ごみの野焼きには、厳しい罰則(3年以下の懲役、300万円以下の罰金またはこの併科)が適用されます。「知らなかった」では手遅れです。ご注意ください(一部宗教上の行事や災害等の場合を除く)。

たとえ少量であっても、ごみを燃やすことによる煙や臭いが隣近所の迷惑になりますので、野焼きは絶対にせず、家庭ごみは分別してごみステーションに出してください。また、事業活動から出るごみは、事業者の責任において、適正に処理してください。

なお、市では期間限定で家庭から排出される落ち葉・枝・芝などを、たい肥化する事業「みどりのリサイクル」を試験的に実施します。

この試験事業は、花川北・花川南地区にお住まいの方だけに限定しており、各地区ごとの試験収集予定日は、花川北地区:10月4日(月)・11月1日(月)、花川南地区:10月5日(火)・11月2日(火)となっています。枝は荒縄などで縛って、落ち葉などは透明・半透明の袋に入れてごみステーションに出してください。この実施期間を過ぎますと、通常どおり「分別カレンダー」に基づき、ごみとして回収されることとなります。

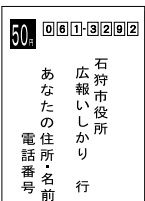
もし、近所でごみの焼却を見かけたときは、ごみ対策課にご連絡ください。

問合せ ごみ対策課 ☎72-5353

## 大募集!!

毎月の締切は前月の5日です

広報紙への感想や批評、市への質問など何でもお寄せください。イラスト・写真(ともにオリジナル作品に限る)も大歓迎です。匿名希望の場合も名前、住所、電話番号を必ず明記してください。



TEL (0133)72-3153

FAX (0133)74-5581

Eメール PR@city.ishikari.hokkaido.jp

## 句歌歳時記

### 【俳句】

若葉風古城の悲史をゆらしゆく  
曳地 理子

“はまなすの丘”なる砂嘴を蝶わたる  
岩崎 久仙

汽車発つや膝の鞆の鳴る電話  
荒川 信

### 【短歌】

萩の町丸いポストはぼつねんと  
わたしを見てゐた童画のやうに  
宍戸 静江

黒き牛草食むもまた寝そべるも  
見えてのどけき昼の牧場  
渋谷 静子

今日一日こだわりていし息子の言葉  
他愛なき事とシヤワーで流す  
遊佐 喜久子

# 市民レポート

市の花としておなじみの「ハマナス」。野田さんにとっても幼いころから親しんできた花ですが、今回は新たな発見もあったようです。

今月のレポーター の だ あ す か 野田 亜寿花さん



▲石狩灯台とハマナスの群生

## 「石狩の植物について」



▲白い花卉のハマナス

私がまだ幼かったころは、どこにでも咲いているイメージがあり、実際、家の周りにもたくさん咲いていました。最近は少なくなつたように思います。もちろん、ほかの植物もです。少し寂しい気持ちがあります。

私がまだ幼かったころは、どこにでも咲いているイメージがあり、実際、家の周りにもたくさん咲いていました。最近は少なくなつたように思います。もちろん、ほかの植物もです。少し寂しい気持ちがあります。

**厳しい環境に  
適応する植物**

私は今回、石狩に自生する植物について調べてみました。現在、私が住んでいる海岸地域では、「ハマニンニク」や「コウボウムギ」、砂丘に生える「ハマボウフウ」や「ハマナス」、「スキ」、「コウボウシバ」、「ハマヒルガオ」、「ハマエンドウ」などがあります。これらは、厳しい環境に適応するために、それぞれ深い根を張ったり、茎を横につけたりとそれぞれ工夫されています。

**優雅な香り  
ハマナスの魅力**

その中で、私が興味をもったのが「ハマナス」でした。「ハマナス」について少し説明したいと思います。

「ハマナス」は「ハマナシ」とも呼ばれます。主に北海道、東北山陰の海辺に生育しており、バラ科の植物で、花は紅色で香りが高く、花期は6月から8月。枝の先に1個から3個くらいの花をつけ、花冠は5〜8cm、花弁は広い倒心形で葉の表面はしわがいちじるしく、裏面には細かく短い毛があります。枝が太く、細い「トゲ」と太くて短い毛のある「トゲ」が混生し、地中に走出する枝を伸ばして繁殖するそうです。似ている種では、「タカネイバラ（タカネバラ）」などがあるそうです。「ハマナス」の赤く熟した実は、ジャムにしたり、お酒に漬けたりするなどして食用としても利用できるようです。



▶ 紅い花卉のハマナス

もっと近くで  
花を見つめて…

「ハマナス」は、場所によっても異なりますが、9月に入っても花が楽しめます。今回、写真撮影をする際に「白いハマナス」も見つけました。

本町地区に行くと、「はまなすの丘公園」があります。「ハマナス」についてはもちろん、石狩の花などについても分るので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。